

恩納村慰霊の日特別企画展

恩納村では沖縄戦から70年目の2015年より、毎年6月から7月にかけて恩納村の戦争をテーマにした特別展を企画しています。戦争編発刊へむけた恩納村史編さん係での調査内容、教育委員会文化係の戦争遺跡を中心とした資料、博物館の収蔵品とコラボし、恩納村博物館、村役場ピロティ等で開催してきました。今月号ではこれまでの企画を振り返ります。



2020年

2018年



『恩納村誌』（1980年）、恩納村遺族会の『恩納村民の戦時物語』（2003年）をベースに村史編さん係が聞き取り調査したものに加えて、証言コーナーを設けました。「村内に住んでいるが知らない

（1）「継承」をテーマに

2015年から2017年は「継承」をテーマに置き、村内の戦争体験、各学校での平和学習の取り組みを紹介する企画を実施しました。

年	テーマ
2015	「沖縄戦 70年目の記憶 ～語り継がれる恩納村（うんな）のイクサユー」
2016	「次代へつなぐ71年目の夏～恩納村と戦争」
	「証言朗読会」（恩納村での戦争体験の職員による朗読）
2017	「“忘りららん”～恩納村におけるいくさ場の記憶と記録の継承」
2018	「戦場となった恩納岳 少年ゲリラ兵 第二護郷隊の戦争」
2019	「恩納村に近づく戦争の足音～いくさを二度とくりかえさないために、戦争体験から何を学ぶか～」
2020	「戦場となった恩納村 ～75年前の沖縄戦から何を学ぶか」

理解しやすくするためにQ&A形式で「護郷隊とは？」「何の目的で？」「ゲリラ戦って？」「なぜ少年たちが」など、基本的な内容が理解できるように6つの項目から展示をはじめました。

ことばかりだった」「恩納村ではそれほど戦争は激しくなかったかと思っていけれど、証言を読むと全然違うことがわかった」などの感想が寄せられました。

（2）「少年ゲリラ兵護郷隊」2015年からの展示を踏まえ、体験者の証言に出てくる恩納岳に焦点をあて、恩納村の戦争を考える上での大きなキーワードである「護郷隊」をテーマにしました。

①Q&A形式

2018年は「戦場となった恩納岳 少年ゲリラ兵 第二護郷隊の戦争」と題して、恩納村で遊撃戦を展開した護郷隊を取り上げました。護郷隊を